

幹部教育實施計画

昭和十七年六月

方針
將校對之戰訓及對水戰法之基、陣地構築及防禦戰術之研究、
現地之就き指導シ其能力特ニ敵ノ意表ニ出シテ戰法ニ関シ其著想
ヲ教育指導シ任務達成、能力ヲ向上ス

實施要領

一、各大隊(步兵)一部(全)毎基ニ中隊、陣地之就き任務基ク戰術指導、
腹背、兵方部署陣地設備火網、構築重大基ト、協同對戰術施設對
戰車障礙ノ考察等、戰術戰訓之基ト現地之就き研究シ米軍戰法(附)
部、動作、指導シテ指導揮能力ヲ向上ス
二、統制官及補助官
聯隊長

三、專習員

岡澤大尉、石井少尉、柳大尉、村軍曹、傳令三

四、殘留者

兵科將校全員(並ニ一部トス)

五、服裝

本部聯隊副官、工、工、料校各一

六、集合解散

略裝トシ水筒眼鏡及當日ノ晝食ヲ筆記具携行
乘馬本令者ハ乘馬トス(馬取扱兵ヲ附ス)

七、指導要領

十月二十四日 〇九、〇〇
十一月五日 一七、〇〇
△二五八、八
△二五八、八
福地東方高地

指導要領

日次	時間	場所	指導概要
----	----	----	------

〇九〇〇
二二〇〇
二二〇〇
二二〇〇

30
1.00
2.30

前地、戰鬥
兵力配備
敵方新威
通信連絡
撤退時機

258.5

一、〇九〇〇集合
二、第一中隊任務之基、戰鬥指導、腹背
說明
三、前地、兵力配備研究
四、敵方新威方策
五、內當北方高地ニ移動
一晝食ハ各自携行トス

食
大東

中隊長
一、中隊長、指導、先頭偵察、夜襲

一、本隊...
 二、本隊...
 三、本隊...
 四、本隊...
 五、本隊...
 六、本隊...
 七、本隊...
 八、本隊...
 九、本隊...
 十、本隊...

井

現勤

員務

人員 將校以下 二八名

日直下士官 陸軍軍曹岩岩 淵亮一
 北地區駐屯地司令官 美田千賀藏

十月十六日	渡久地地區	曉第一六四部隊
同 十七日	謝花地區	來第七八六部隊野崎隊
同 十八日	今歸仁地區	井上隊
同 十九日	渡久地地區	本部
同 三十日	今歸仁地區	野崎隊
十月一日	謝花地區	井上隊

左記

四 前島伍長工務兵... 鐵工場、整理...
 五 北地區駐屯地命令
 一 巡察將校左記、通服務スベシ
 十月十五日 渡久地

馬匹 三頭
軍犬 二頭

謝名 十月二十六日

一、午前軍紀教練ヲ實施ス

岩瀬軍曹指導 出場人員一五名

二、午後兵器被服、手入倉内外、掃除ヲ實施ス

三、関中尉連絡、爲四〇〇聯隊本部ニ出張一八〇歸隊ス

四、北地區隊命令 十月二十六日一五〇〇

別紙

五、北地區隊命令 十月二十六日一五〇〇

一、北地區隊ハ對戰車肉攻訓練ノ成果ヲ南急速ニ高上セントス

二、各隊ハ對戰車肉攻査閲計畫ヲニ基キ擔任陣地ニ於テ

戰闘任務遂行ニ必要ナル情况ヲ作為シ受査閲細部ノ

計畫ヲ立案ス

北地區隊長 美田大佐

十月二十六日

下達命令六、井上隊命令

一、井日命令 第八一號ニ依ル擔任區域内ノ動哨ハ明ニ七日

以降中止ス

左記

一、聯隊ハ情勢即應ニ對策態勢ニ在リテ近ク行ハル、移

駐ヲ準備ス

二、聯隊ノ行動爾後ノ企圖ニ関シテハ防線ニ嚴シクシム

三、各隊ハ工事ヲ中止シ訓練就中對戰車肉攻ノ教育並ニ對

戰車資材ノ考案取扱ヲ實施ス

四、移駐ノ時期ハ十二月初旬ト豫定ス

五、部隊ノ移駐ニ伴フ資材材料一切ノ荷物ノ重量容積ヲ二〇

進呈報告スルシ

六、築城材料ハ勞テ携行ヲ準備スル

但シ新ニ到着スル部隊ニ必要ナルモノハ差置スルモ勞ノ多ク

ク携行スヘシ

七、各隊計畫準備セル行事ノ豫定ノ如ク實施スヘシ

日直下士官 陸軍主計係長 中田芳雄

(并上)

勤務 人員

馬 匹 人員 將校以下二六名

馬 匹 二頭

年 犬 二頭

編成三司令第七四號

北地區隊命令

十月二十日 北地区

一、部隊公情勢ニ即應ニ對戰車内夜資材ノ整備及之カ取扱ノ教育

ニ 兵卒本員ハ二十日午前第一大隊同午后第二大隊ノ下士官以上全員付

シ月夜教育ノ担任實施スヘシ

二、第一隊兩大隊ハ車修員トシテ下士官以上全員ヲ集合シ兵卒本員ノ教

育ノ受ケシムヘシ

四、本部及屬中隊ハ第二大隊ノ教育ニ参加スヘシ

五、教育計畫ハ別ニ配布ス

北地區隊長 美田大佐

造二報告スシ

六、築城材料ハ方メテ揚行ク準備スシ

但シ新ニ到着スル部隊ニ必要ナルモノハ設置スルモ方メテ

揚行スル此此道有牙 美田大出

五、築城材料ハ方メテ揚行ク準備スルモ方メテ

揚行スル此此道有牙 美田大出

現 育 慶 員 將校以下二八名

二、築城材料ハ方メテ揚行ク準備スルモ方メテ

現 育 慶 員 將校以下二八名

三、築城材料ハ方メテ揚行ク準備スルモ方メテ

現 育 慶 員 將校以下二八名

四、築城材料ハ方メテ揚行ク準備スルモ方メテ

現 育 慶 員 將校以下二八名

陸軍三司令 第二四號

大北画新命令

十一月二十一日

對戰車用攻資材及取扱教育計畫 昭和十九年十一月二十一日 第一九二一、二七 第七八、二六、二七

一、目的

將校及下士官對シ各種對戰車用攻資材及之取扱法ハ慣熟セシムルト
共ニ將シ大藥火具ニ對シ理解ヲ深刻ナシメ確キル信念ノ堅持ヲ部下
ノ指導ニ任セシムルヲ以テ目的トス

二、實施日時 昭和十九年十一月二十一日

午前七時 第一大隊
午後一時 第二大隊

三、場所 謝花國民學校

謝名國民學校

四、監督官及教官助教

監督官 岡澤 大尉
教官 藤本 中尉
助教 坂口技術准尉
大久保 伍長

五、主要教育事項

- (一) 黄色藥及点火具、性能ト取扱上、注意
- (二) 急造爆雷、製法ト取扱上、注意ニ就テ
- (三) 鈎附五(三) 炸捆包爆ニ就テ
- (四) 加量戰車地雷、製法及取扱法ニ就テ
- (五) 小型機雷、取扱法ニ就テ
- (六) 結束手榴彈、製法及取扱法ニ就テ
- (七) 急造爆破筒、製法及取扱法ニ就テ
- (八) 在詰爆藥、製法及取扱法ニ就テ
- (九) 應用輕破壊筒、製法及取扱法ニ就テ

六、實施要領

各項目ニ付キ、實物又ハ模型ヲ以テ製法並ニ取扱法ニ関シ教育ヲ實施ス

土 月 二 七 日 陸 軍 中 隊	教 育 名 目	<p>一、午前中軍紀教練ヲ實施ス 出場人員岩淵軍曹以下一八名</p> <p>二、関中尉一三〇ヨリ役場ニ到リ軍官民合同警備演習指導 打合、爲各區長役場ニ集合シ指導ヲナス</p> <p>三、第五中隊第六中隊共ニ分ビシアリシモ本日ヲ以テ夫々今歸仁校ニ 集結セリ</p> <p>下達命令四 井上隊長 令</p> <p>陸軍中尉 森岡大二</p> <p>一、明二八日今歸仁地區巡察將校服務スヘシ</p> <p>二、明二八日ヨリ部隊衛兵ヲ左、如ク差出シ服務スヘシ</p> <p>二八日 第五中隊</p> <p>二十九日 第六中隊 以下繰返ス</p> <p>司令一、歩哨掛一歩哨四</p>
---	------------------	---

廿五日

勤務員

二、各中銃隊、銀工兵、別指示不了迄、銀工場、於テ勤務スヘシ
日直下士官 陸軍主計伍長 中田 芳雄

人員 將校以下二八名

馬匹 二頭

軍犬 二頭

謝名 十月二十九日

一、六號無線、補備教育ヲ秋山兵長指導下ニ開始ス

本部各中隊修業兵全員

二、午前中内務教育ヲ實施ス
日直下士官 陸軍軍曹 藤井 光男

人員 將校以下二八名

馬匹 三頭

軍犬 二頭

謝名 十月二十九日

一、〇四〇本部各中銃隊全員非常呼集ヲ實施ス

第四中隊ハ電話ヲ以テ下達ス

服裝軍裝ニシテ彈藥糧秣ヲ除ク

場所 今歸仁準備隊警急集合場

二、〇四五六大隊長以下全員集合終リ

三、編成以來最初非常呼集ニシテ燈火ヲ使用セス 集合時間五五分

(迅速ナル者十五分)ヲ要セリ

現下情勢ハ稍、遲キ感アリ 裝具ハ一通リ所持シ 着裝概テ堅

確ナリト認ム 器具及地下足袋、着定規程ニ反スル者アリ

内務ハ概テ整備シテ可ナリ

前回乙援戰備ヨリ迅速整備ニ出來待タルモト認ムルモ現下

常對戰準備ヲ考ヘ何時モ命令ニ即應スルヲ準備ス

四、六三、各隊、待遊艇、夜好ナリ

○七、同演習終了

五、別紙計畫表キ、守備隊第一回、軍官民合同警備演習、實施ニ
六、聯隊本部、左記見學者來隊ス

陸軍中尉 藤本 宗一
陸軍中尉 杉浦 隆孝
同 同 柴田 一男
陸軍中尉 寺邑 徳則

七、○六、三、計畫表、通り警備隊報告發令
本部、岩淵軍曹外兵一、整理各部落、補助、塩原軍曹外兵二

八、各隊擔任部落、夫々補助官ヲ派遣ス
一六、無事演習終了ス

下達命令九、井上隊命令

附八九號

陸軍中尉 森岡 大二
六月二十九日

軍官民合同警備演習實施計畫

井上 隊
昭二九、一、二、三

軍官民合同警備演習實施計畫

并上 一九二二

一 方針

教育訓練に際しては、進捗に伴い併行せしむる旨を基に情勢推移に伴い即時即座に態勢を以て自衛隊を演習に戦力として遂行せしむるに地方住民特防隊等が団に軍上層に併存し、自主積極的國土防衛に大任を充てる觀念を養成し其收揚向上に他は住民に非常際整々たる退避避難行動を遺憾なくカラム

二 想定

比島方面に於て八尾番米軍ハレイテ島上陸以來激戦を戦い極力政防正に警目ナキ状態ナリ 十月十四日頃「マキン」タラフ附近に於て出撃準備を完了せしむるに敵機動部隊四群（群は改定以上統母四群ヲ基幹ト称ス）八十五日以降南太平洋上を遊弋シ、ソノ部ハ「ルン」島「マラ」市に空襲シ、行動に刻意を以てサレシクハハルン

千八百情報言ハ「パラオ」島北方一五哩附近に於て敵機機動部隊が遂次移動同地比島方面に於て八尾番米軍ハレイテ島上陸以來激戦を戦い極力政防正に警目ナキ状態ナリ 十月十四日頃「マキン」タラフ附近に於て出撃準備を完了せしむるに敵機動部隊四群（群は改定以上統母四群ヲ基幹ト称ス）八十五日以降南太平洋上を遊弋シ、ソノ部ハ「ルン」島「マラ」市に空襲シ、行動に刻意を以てサレシクハハルン

<p>一 二 三 四</p>	<p>一 二 三 四</p>	<p>3.00</p>	<p>1.30</p>	<p>一 警備警報發令 二 軍上層に於て手続備下令 三 遂次準備ヲサシム 四 地方側 乙手続備下令 五 八五ヨリ敵機空襲の 六 五フ補助官</p>	<p>一 軍隊側 1. 丁長が備下令に即座に 2. 対空監視哨に對して 3. 地方側 丙手続備下令 4. 警備団防衛隊に對して 5. 地方側 丙手続備下令 6. 地方側 丙手続備下令</p>	<p>一 軍隊側 1. 至急に警報發令 2. 備下令に即座に 3. 地方側 丙手続備下令 4. 警備団防衛隊に對して 5. 地方側 丙手続備下令</p>	<p>一 軍隊側 1. 至急に警報發令 2. 備下令に即座に 3. 地方側 丙手続備下令 4. 警備団防衛隊に對して 5. 地方側 丙手続備下令</p>
----------------------------	----------------------------	-------------	-------------	---	---	--	--

指 導 要 領 着 服

一 警備 十月十九日 今歸仁地区
二 服装 軍装ニシテ背袋ヲ除ク
三 給養 同日晝食ニ於て行ハス
四 指揮要領

同 関 太郎

右者對空機戰研究本員ヲ命ス

二 陸軍少尉 川合次二

右者第一大隊ノ實施スル軍官民合同警備演習見學
為本二十九日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ附花ニ出張ヲ命ス

受 領

獨立混成第十五聯隊命令

十月二十九日ハ
陸軍少尉 川合次二

獨立混成第十五聯隊
第七七號

一、レイテ島ノ戰況ハ重軍ニ有利ニ進展シツテアリ
軍ハ情勢ニ即應スル態ニ努メニ移行ス

二、聯隊ハ嚴ニ企圖ヲ秘匿シ、爾右行動ヲ準備スルト共ニ情勢

ニ即應スル訓練ヲ實施セトス

三、第一大隊長及高級主計ハ明三十日〇七〇迄ニ本部國民

學校ニ集合シ新任務ヲ基テ現地ニ偵察隨行ス

由第二大隊長ハ明三十日成ルル速ニ伊江島ヲ發シ進及ス

四、各隊主任人員ノ明三十日〇七〇迄ニ本部國民學校ニ差出シ

任セムヘシ

左記

將校

第一大隊 石井少尉、町田軍中尉
第二大隊 山谷少尉
第三大隊 渡辺中尉

下士官

那隊本部 一名 獨之中隊 各一名
聯隊本部 二名 第一大隊 一名
第二大隊 二名 第三大隊 二名

先發者、服装八個人、裝備ヲ完備シ、寢具、露管、材料、他十口分ノ種、林ヲ携行セシムヘシ

五、各隊ハ移駐準備ヲ完整スルト共、專ニ情勢即應、訓練、實施スヘシ

集積彈藥種、銃、彈、現位置ヨリ、運搬、間ニハ別ニ指示ス
六、現ニ計畫中ノ對戰車肉攻、企圖ハ一時、延期シ、實施、時期ハ別ニ命ス

七、予ハ明三十日、七〇〇渡久地、發新移駐地ヲ偵察シ、右十二月日渡久地ニ歸還ス

要

領

二、獨立混成第十五聯隊日命令

六月十九日

獨混第十五日命

一、

陸軍一等兵 笹井 正夫

右技術部下士官候補者トシテ第三二野戰兵營隊ニ分遣ヲ命ス

仍テ個人裝備ヲ完備シ、十二月九日迄ニ同廠到ルヘシ

日置下士官 陸軍軍曹 宮崎 啓二

人員 將校以下 二八名

馬 匹 三頭

軍 犬 二頭

現

員

勤務

上

大隊長... 命第七七號... 基... 三... 百動... 車... 一... 七... 號...

二、中野中尉以下三名右三依り同時出發ス

教 育 三、三〇三、獨逸五作命第七四號... 依り對戰車內攻守材及取扱教

育之實施ナレ

教育參加將校以下七五名

場所 今歸仁國民學校庭

十月二十日

下達命令 四、井上隊長命令

井上日命 第九〇號 一、本職本寺目、當分間新任務基、陣地復泰ニ出張ス

二、右者本職不在間大隊長代理ヲ命ス 陸軍大尉 橋本安弘

三、右者新陣地、引繼及後營為先發ヲ命ス 陸軍中尉 中野清市

陸軍兵長 中村一二三

陸軍一等兵 岩村 勇

右者新陣地、引繼及後營為先發ヲ命ス

陸軍准尉 吉川定信

四、明日謝花地區巡察將校職務スシ

五、別紙通、日直將校職務スシ

日直下士官 陸軍軍曹 塩原茂信

人員 將校以下六名

馬 匹 三頭

軍 犬 二頭

井上

現 勤

員 務

人

馬

軍

犬

中野中尉以下三名右に依り同時出發す
 教育有三
 一、三日間獨立五作命令第七四號に依り對戰軍内及資料及取扱教育實施す

教育參加將校以下七五名
 場所 今歸仁國民學校庭

十月三十日

下達命令 井上隊長命令
 乘職 乘車目 當分 團長 任務 二基ノ陣也 偵察ニ出張ス

二、乘車大尉 橋本 安政

入右者 乘職 乘車目 當分 團長 任務 二基ノ陣也 偵察ニ出張ス

五、保給 敵一日直隊 乘車目 當分 團長 任務 二基ノ陣也 偵察ニ出張ス

四、右者 乘職 乘車目 當分 團長 任務 二基ノ陣也 偵察ニ出張ス

日次	履服	務者
十月一日	金	神谷少尉
十月二日	土	今本少尉
十月三日	日	廣島中尉
十月四日	月	森岡中尉
十月五日	火	原田少尉
十月六日	水	田村少尉
十月七日	木	木村曹長
十月八日	金	金義井少尉
十月九日	土	吉川准尉
十月十日	日	原田曹長
十月十一日	月	川合少尉